後世へ引き継ぐ願い

宮城・女川 遺族建立の石碑移設

東日本大震災の津波で、七十七銀行女川支店（宮城県女川町）に勤務していた家族を亡くした遺族らは24日、町内に建立していたモニュメント（石碑）を、支店跡地に近い新たな場所に移設した。6月11日にお披露目と記念植樹の会を開き、鎮魂の願いと震災の教訓を未来へつなぐ新たな拠点として再出発する。【百武信幸】

東日本大震災 11年

同支店は2011年の震災で最大約20㍍の津波に襲われ、行員らは銀行の指示で2階建て店舗の屋上に避難し、4人が死亡、8人が行方不明となった。遺族らは支店跡地に慰霊の花壇を設置し、なぜ目の前の高台へ避難しなかったのか、原因究明と再発防止を願い、語り部活動を続けてきた。その後、復興工事の影響で花壇を町地域医療センター下の町有地に移設。その場所に2015年3月、石碑を建立した。

碑には銀行の制服を着た男女が彫られ「命を守るには高台へ行かねばならぬ」との教訓や「語り継ぐ命」との決意も刻まれた。多くの人が手を合わせに訪れ、遺族にとっても大きな心のよりどころだった。ただ復興工事がほぼ完了し町に土地を返すことになり、遺族らは支店跡地にも近い、約160㍍海側の民有地を買い取って移設することにした。

銀行支店跡地近く 背後には高台

モニュメントの移設作業を見守る遺族ら＝いずれも宮城県女川町で

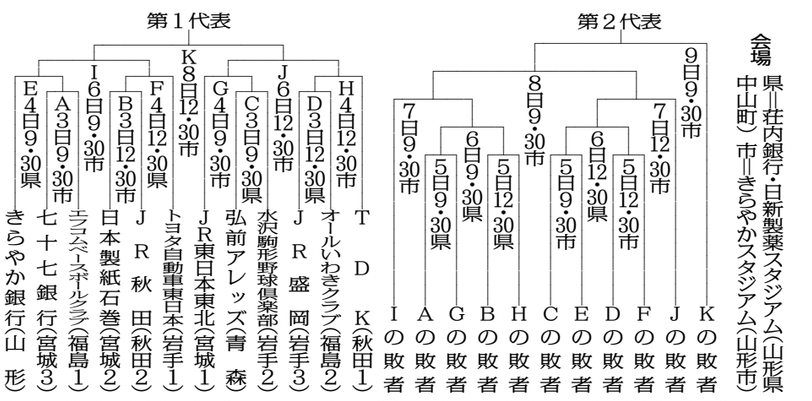
24日は、遺族3人がモニュメントを作った彫刻家の平泉正司さん＝同県川崎町＝らとともに、移設作業に汗を流した。建立時は町の復興はまだ始まったばかりで、設置場所（海抜約10㍍）から銀行跡地を見下ろせたが、その後跡地周辺が8㍍かさ上げされ、ほぼ同じ高さに。行員だった長男健太さん（当時25歳）を亡くし、碑の前で語り部活動を続けてきた田村孝行さん（61）は「最初はここに立てば息子に会えるとの思いがあったが、今は息子と妻と3人、一緒に活動している気持ちで、時間と心の変化を感じる」と振り返った。

午前中の作業で瞬く間に碑の取り外しが終わり、姉の美智子さん（同54歳）を亡くした丹野恵子さん（62）は、碑があった場所に感謝を伝えるように丁寧にほうきで掃き「終わっちゃったね」とつぶやいた。

新たな場所は、普段は穏やかな海が見渡せ、碑の背後には上れば助かった高台が見える。行方不明の妻祐子さん（当時47歳）を捜す高松康雄さん（65）は「落ち着いた場所に動かせてほっとした。新しい場所ではまた新しい出会いがあるだろうし、碑を見た人が、ここでの出来事を知るきっかけになればいい」と話した。後世へ引き継ぐ願いを込め、6月11日のお披露目会では、地元の子供たちに植樹をしてもらうという。

移設されたモニュメントを見つめる高松康雄さん（手前）と田村孝行さん

第93回都市対抗野球2次予選東北大会



東北2次予選 熱戦へ

6月3日から 組み合わせ決まる

第93回都市対抗野球2次予選東北大会（JABA東北地区連盟、毎日新聞社主催）の組み合わせ抽選会が25日、山形市であった。

大会は6月3～9日、山形市のきらやかスタジアムと中山町の荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがたで開かれる。東北6県の計12チームが敗者復活のあるトーナメントで、7月18日に東京ドームで始まる本大会への出場2枠を争う。JABA新型コロナウイルス対応ガイドラインに従い、感染防止対策を徹底し、有観客で鳴り物応援の復活も予定している。

前回東北代表を勝ち取った2チームは2回戦から登場。第1代表のJR東日本東北（宮城第1代表）は弘前アレッズ（青森代表）と水沢駒形野球倶楽部（岩手第2代表）の勝者と、第2代表のTDK（秋田第1代表）はJR盛岡（岩手第3代表）とオールいわきクラブ（福島第2代表）の勝者とそれぞれ対戦。開催地の山形代表のきらやか銀行は2回戦で、七十七銀行（宮城第3代表）とエフコムベースボールクラブ（福島第1代表）の勝者と対戦する。【横田信行】

第93回都市対抗野球

声優の三上さん 観光大使に

青森県出身 市の魅力発信へ

青森市は、青森県出身で声優として活躍する三上枝織さんを観光大使に委嘱した。今後、広報番組への出演や、イベント企画を共同で行うなどして幅広い世代に市の魅力を発信していく方針だ。

24日に青森市役所で委嘱式があり、小野寺晃彦市長が委嘱状を読み上げ、観光大使としての名刺や市のガイドブックを手渡した。三上さんは昨年、青森市の広報特番にナレーションで参加したことがきっかけとなり、本人からも申し出があったことから今回の観光大使就任が実現した。

懇談の場では、小野寺市長が「地域創生に声優が起用されているケースもあり、そういう機会も作れたらと思う」と提案。三上さんも「盛り上げていけるように頑張っていきたい」と応じ、「アニメ関係の方々にも、私を窓口として青森に興味を持っていただきたい」とアピールした。

三上さんは「進撃の巨人」シリーズや、弘前市を舞台にした「ふらいんぐうぃっち」などのテレビアニメで声優として活躍を続けている。【江沢雄志】

青森市の小野寺晃彦市長から観光大使の委嘱状を受け取り、記念撮影に応じる声優の三上枝織さん（左）＝青森市役所で

ウチの場合は

森下裕美

3年ぶりに「化けもの」

山形・鶴岡天神祭

「化けもの」に扮（ふん）した市民がうちわなどを配って歩いた＝山形県鶴岡市で

山形県鶴岡市で25日、菅原道真をまつる鶴岡天満宮の例祭「鶴岡天神祭」があった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施されていなかったパレードが3年ぶりに中心市街地で繰り広げられ、6校の小学生ら約720人が参加した。

編みがさをかぶり手ぬぐいで顔を隠した名物「化けもの」が、無言で地酒やジュースを勧める恒例の振る舞いはせず、代わりに地元酒蔵が製造した消毒用アルコールで沿道の見物客の手指を消毒したり、うちわを配ったりした。パレードの距離や参加者は例年の3分の1程度に規模を縮小し、コースの出入り口では検温と消毒を徹底した。【長南里香】

放流用アワビ稚貝を初出荷

岩手・11万1000個

アワビの漁獲量日本一の岩手県で25日、放流用の稚貝（種苗）が初出荷された。大船渡市の県栽培漁業協会が約1年かけて育てた11万1000個を県内の2漁協に発送した。協会によると、親貝の漁獲量の安定化が目的で、2022年は県内と青森の19漁協に21年より55万個多い387万個を出荷する予定。

この日は、従業員ら20人が水槽から体長2・5㌢に成長した稚貝を網ですくい、個数や重さを確認しながら1000個ずつ箱詰めしてトラックに積み込んだ。協会の伊藤克宏専務理事は「稚貝は順調に育った。3、4年後には（親貝になり）漁業者の利益につながってほしい」と話した。

岩手県沿岸はアワビの餌の海藻が豊富で、20年の漁獲量は119トンと2位の宮城（63トン）を大きく上回った。稚貝は親貝から採卵し、施設内で餌や水温を管理しながら1年以上かけて生育する。22年は海水温が低く、放流に適しているとされる10度になるのが遅れたため、出荷も21年より半月ほどずれ込んだという。【奥田伸一】

アワビの稚貝の個数を確認しながら作業する岩手県栽培漁業協会の従業員＝岩手県大船渡市で

新規感染487人 クラスター2件

新型コロナ

宮城県と仙台市は25日、新たに487人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。県内の感染者は計8万4888人となった。死者は確認されなかった。

居住地別では、仙台市318人、名取市22人、多賀城市15人、大和町13人、塩釜市12人、大崎市11人、亘理町10人など。年代別では10歳未満100人、10代98人、20代66人、30代88人、40代58人、50代31人、60代以上46人だった。仙台市内の保育施設2カ所で新たなクラスター（感染者集団）の発生が確認された。

県内の確保病床に入院しているのは74人で、病床使用率は14・1％。そのうち重症者は1人で、重症者用病床の使用率は1・8％だった。【武内彩】

天気

のち　一時・時々　5㍉以上　正午の風向き　5㍉未満

	気温/降水確率	6	9	12	15	18	21	24時	あすの予報
仙台	24/16℃ 10%								19/15℃ 80%
古川	25/16℃ 10%								20/14℃ 80%
石巻	23/16℃ 10%								18/14℃ 80%
白石	26/14℃ 10%								19/14℃ 80%

	かさ	洗濯	紫外線
仙台	1 必要なし	4 よく乾く	3 強い
古川	1 必要なし	4 よく乾く	3 強い
石巻	1 必要なし	4 よく乾く	3 強い
白石	1 必要なし	4 よく乾く	3 強い

あすのこよみ
5月27日 旧4月27日 中潮
＜赤口＞
月齢26.3
日の出入（宮城標準） 4:17 18:50
月の出入 （同） 2:30 15:41
満潮 （鮎川港） 1:02 14:18
干潮 （同） 7:46 19:29
波の高さ （鮎川港） きょう 1.5㍍ あす 1.5㍍のち3.0㍍

週間予報（仙台）
28日（土） 25/14℃ 30%
29日（日） 28/15℃ 20%
30日（月） 21/15℃ 30%
31日（火） 21/14℃ 50%
1日（水） 25/15℃ 40%

きのうの気温
仙台 23.9/14.3℃
気仙沼 21.5/11.8℃
古川 26.6/13.4℃
石巻 21.7/15.9℃
白石 25.3/11.4℃
丸森 23.5/10.7℃
（記録は18時まで）

指数情報（項目は季節で変わります）
■かさ指数
雨や雪の降りやすさの予測に基づいた情報。降られては困る時の目安に。
レベル1＝必要なし
レベル2＝折りたたみ傘を
レベル3＝長傘が安心
レベル4＝傘は必須

きょうの行楽地
栗駒山 21/10℃ 50%
気仙沼魚市場 23/15℃ 10%
松島 23/15℃ 10%
蔵王 25/12℃ 10%

宮城 東北

仙台支局
〒980-0012
仙台市青葉区錦町1の5の1
022・222・5972 FAX022・222・6048
石巻通信部
022・222・5972 FAX0225・23・8581

広告は 毎日広告社仙台 022・265・4111
折込は ケンオリ 仙台営業所 022・217・6766
購読は 0120・468・012

仙台中央 222・9381 仙台西 222・9381
長町 263・2541 南小泉 263・2541
塩釜 362・1474 石巻 95・9888
古川 22・0604 原の町 256・3636
多賀城 362・1474 気仙沼 22・0202
岩沼 22・3538 白石 26・2553

Eメール
sendai@mainichi.co.jp

ご飯にも小鉢でも!! リピーター続出の人気の一品

国産ごぼうと昆布の旨味！シャキシャキ食感がクセになる あとひき梅ごぼう

お申し込み締め切り日 本日より1週間

和歌山県 紀州みなべより

初回限定お試し価格

国産あとひき梅ごぼう

1袋200g入り 980円（税込） 送料770円（税込）

3袋以上ご購入で 送料無料 通常送料770円（税込）

梅のふるさと紀州みなべよりあとひき梅ごぼうをご紹介。ささがきごぼうに、昆布の旨み、ごまの風味、とうがらしの辛みを加え、しょうゆベースの甘辛味に漬け込みました。ほのかな梅肉の風味がアクセントになっています。シャキシャキとしたごぼうの食感をお楽しみください。

●お申込は今スグお電話で!! ●受付時間9:00～18:00

商品番号 ICGO2600 ☎050-1864-2859

せきもとフーズ株式会社 〒645-0001 和歌山県日高郡みなべ町東吉田408-6

だいすつにしますプライバシー 20001078(07)

JADMA 公益社団法人日本通信販売協会会員

●お届けは、ご注文頂いてから約10日。配送はクリックポスト便（郵便受けに配達）となります。●お支払いは郵便局、コンビニエンスストア振込、クレジットカード払い（事前連絡が必要です）。こちらで指定させていただく場合がございます。●万一不良の場合、商品到着後10日以内にご連絡下さい。交換させていただきます。お客様の都合による返品・交換は送料お客様負担となります。また開封済み商品は性質上返品・交換に対応しかねます。●お預かりした個人情報は、商品の発送以外に商品・サービスなどのご案内のために使用させていただきます。